

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぐろうす1組			
○保護者評価実施期間	2024年 9月 8日		～	2024年 9月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2024年 9月 10日		～	2024年 9月 29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 6日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 重心型のデイサービスとなっており、必ず、看護師が1人1日いるので医療的ケアにも対応できる。 ・ 利用者には入浴希望の方への入浴の提供を行っている。	・ 看護師だけでなく、他のスタッフにも安心安全を心掛けて、医療に対する研修や勉強会を行い、医療に対する知識を備えてもらう。 ・ 入浴については基本的に入浴料の徴収や回数制限せずに提供を行っている。	・ 医療の強化を図り、研修や訓練の回数を増やし、他スタッフにも知識として知ってもらい、習慣化できるように支援していく。 ・ 入浴をすることで入浴動作の取得などの機会を行う。
2	・ 不定期ではあるがOT・PTが在籍しており、リハビリなども出来る環境となっている。 ・ 不定期で買い物学習として休みの日など不定期であるが、おやつの買い出しにも一緒に出かけレジでの対応や清算等一緒に学ぶ機会を提供している。	・ リハビリ中は集中して出来るように、OT・PTさんと1対1で行うように部屋を分けてしている。 ・ 買い物中は、利用者に自身でおやつを選んでもらう。清算もスタッフと一緒に会計を行い、出来るだけ自身でできるように支援を行う。	・ OT・PTの回数を増やしていけるように出来るだけ勤務に入ってもらいように引き続きしていく。また、OT・PTさん指導の元で他スタッフでも出来るリハビリを行っている。 ・ 買い物学習の機会を増やして、環境を整えて行く。
3	・ 夏季休暇などには、イベントを行い（プール・夏祭り・おやつ作りなど）季節で楽しめるイベントを提供している。 ・ 休みの日には不定期であるが少し、おでかけとして外出などの機会も提供している。	・ 毎年イベント内容を変えたり、季節に合った外出先に行ってみたり、利用者さんたちが色々な体験をして刺激になるように工夫している。	・ イベントは固定せずに色々な場所に行き、新しく新鮮な体験が出来るようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 施設が広くない。また、利用者さんが分かれて過ごせる部屋をもう一部屋ぐらいほしい。	・ メインの部屋とサブの部屋あるのでサブの部屋を2つに分けて部屋の確保に努める。	・ パーテーションなどで区切り、個々のスペースの確保を行い、個別支援対応が出来るようにしていく
2	・ 大きな机が2つもあるのでその分過ごせる部屋の部分が圧迫されている。	・ 大きな机を一つにして、もう一つは折り畳み式のテーブルに変えて普段過ごす場合は折り畳み式のテーブルを畳み、スペースの確保を行う。	・ 部屋に合った机やいすを確保する。
3	・ PT.OT.STが毎日きていないので、専門的にリハビリを行う日が不定期になってしまう。	・ 専門的支援の行える、人員の不足。	・ 専門的支援の行える従業員の確保。専門スタッフがいない時の、他スタッフでもできるリハビリの確保を行う。

事業所名		ぐろうす1組				公表日		2024年 10月 6日	
						利用児童数 1		2024年 10月 6日 回収数 1	
		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1						
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1						
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			1				
保護者への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。				1			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。				1			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1				今日はどんなことをしたのか、子供がどんな様子で取組んでいたのか、事細かく教えて下さり、安心に繋がっています。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1				子どもが何かできるようになった時（発達面で）親の立場と同じように喜んで下さり、とても嬉しい気持ちになります。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1		いつも迅速丁寧なご対応感謝しています。		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。				1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。				1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	1					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	1					
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ぐろうす1組					公表日		R6年 10月 6日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2		狭く感じる。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4		やや足りなく感じる。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		日により、部屋の調整をしている。	玄関のスロープからの入り口が狭い。浴室やトイレが狭い。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6							
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		パーテーションで仕切ったりドアを閉めたり、その都度対応している。					
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5						
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2		研修の機会が少なく感じる。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6							
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6							
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6							
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6							
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2						
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6							
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1						
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6							

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	1		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1		
保護者	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		事務所、ホワイトボードに記入し、スタッフ間で周知できるようにしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		事務所、ホワイトボードに記入し、スタッフ間で周知できるようにしている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			